

競技・審判上の注意事項

- 体調管理チェックは各自で行ってください、
なお検温、手の消毒、マスク着用は各自の判断に任せます。
- 1 A この大会は、(公財)日本バドミントン協会競技規則、大会運営規定並びに、公認審判員規定により行います。
- 今大会の大会運営規則
- ア) ポイントは、準決勝までは15点(最大21点) 2ゲーム先取の3ゲームで行うゲーム中(8点)のインターバルは、行いません。
- イ) 準決勝からは正規ルールにて行います
- ウ) 準決勝までは、ゲーム間のインターバルは、90秒以内とする
- エ) 選手は、サーブの高さで確認用に
上衣前面、115cmの所に目印を付けて参加してください。
- オ) 選手集合場所は、設けませんので選手はコールされたら各自でコートにお入りください。
- カ) 点数表示は行いますが、試合のコールの放送が入ってからアリーナに入るようにしてください
アリーナの入り口付近で待機しないで下さい。
- B 給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得て下さい。
- C 今大会は練習時間は設けておりません
各試合で、主審が準備出来るまでの時間は対戦相手との練習は可とします
ただし、シャトルは本部で準備しませんので各自で用意してください
- D 試合の線審は、一回戦は対戦チームよりそれぞれ1名出してください。
二回戦以降については、勝者、敗者共線審を行って下さい。
準決勝以降の試合については、審判員の大人で行います
ご協力お願いいたします
- E 試合が連続する場合、前試合終了後10分間をあける
- 2 A 主審は、放送で案内されたら、審判用紙等を受け取り、担当コート行き、準備(開始時間の記入など)をしてください。
- B 主審は、試合を行う選手の確認は、背面のゼッケンの
氏名・所属チーム名を必ず実施して下さい。
文字の大きさを6cm~10cmの高さで確認してください。
- C 主審は、その試合の線審のイスを確認し、正しい位置での指導を行って下さい。
- D 主審が「20秒」とコールしたら監督・コーチはコートを離れ、選手はコートに入る事。
- E 主審は、試合が終了したら、主審が勝者名を記入し勝者に確認してもらおう。
- F 選手及び主審は、試合終了時、握手をしないでお辞儀をする。
- 3 A 監督・コーチについて
- ① (公財)日本バドミントン協会へ登録済みの者で、
愛知県小学生バドミントン連盟へ、事前に加盟団体より指導者登録をした者とする。
- ② アリーナ内では、指導者カード(吊り下げ名札)を必ず使用してください。
- ③ コーチ席は1席とする。
- ④ 誰がどの選手のコーチであるかの限定はしない。
- ⑤ 公認審判員資格を有す
- B 監督・コーチも大会にふさわしい服装で室内用シューズを着用のこと。
※ビーチスタイル、バミューダ、ジーンズ、裸足、サンダル等の禁止
- C 競技場内への携帯電話又はタブレット端末の持込禁止。持ち込む場合は、電源を切るか、マナーモードにする事。(競技場内では使用しない)
- 4 A 表彰は1位のみ表彰状を授与する
- 5 A ア 試合中の着衣については、(公財)日本バドミントン協会公認の物を着用してください。
イ 競技中の怪我等の応急処置は主催者が行うが、それ以降の処置については1日スポーツ障害保険の規定範囲内での措置とし、以降の責任は負わない。
ウ 選手の更衣は、更衣室で行うようにする。但し荷物は置かない。
エ 体育館使用については、体育館利用規定に基づき、引率者は、体育館内の選手・同行者の行動について十分注意し、指導・監督をすること。
オ 競技場以外での事故については、主催者側は責任を負わない。
カ 体育館内では、体育館専用の運動靴を着用のこと。
キ 観客席に、忘れ物の無いようにお願いします。